

# 栗石町コミュニティ・スクール通信

栗石町教育委員会 令和6年 12月発行



西山小学校 地域学校協働活動 岩手大好きクラブはじめ全クラブ×任意団体「好恵舎～おざしき～」

## 地域団体と協働でクラブ祭を開催



12月4日(水)、西山小学校で初の試み、クラブ祭が開催されました。岩手大好きクラブでお祭りをやりたい！という話から始まり、学校と一緒に出来ることはないかと模索していた「好恵舎～こうけいしゃ OZASIKI(上長山地区にある閉店したお店『旧プチマート』を拠点に活動している任意団体、以下おざしき)と協働でお祭りをすることになりました。そこから全てのクラブが参加するクラブ祭に発展。お祭りなら全校で参加しよう！地域にも声をかけよう！と広がっていきました。保護者や、お世話になった地域の方、西山地区に班回覧で呼びかけ、たくさんの方が来校しました。

13:30の開始に先立ち、校庭でのろし花火を打ち上げ、お祭りスタート。射的や的当て、輪投げ、空気砲、スーパーボールすくい、型抜き、オセロ対決など14の屋台が体育館とひびきあいホールに出店し、各クラブの子どもたちが企画運営しました。

屋台で使えるお祭り券は、宿題や、お掃除、奉仕活動などを頑張ったと認められると発行される仕組みで、この券をもらうために児童は日々の生活から頑張っており組みました。

家庭科室では、家庭科クラブが焼きりんごときなこ餅を準備し、特別支援学級児童は、育てたさつまいもを調理し振舞いました。西山小のシンボルツリー「棗(なつめ)」のお茶を試飲し、その効能も知ることができるコーナーもありました。景品のおもちゃは児童が使わなくなったものを持ち寄り、スーパーボールや、射的の道具、輪投げなどの縁日の小道具は、「ふるさと文化振興基金」の助成金で「おざしき」が準備しました。1～3年生がそれぞれ体育館から昇降口までの往復を自作の御神輿おみこしを担ぎ練り歩き、全校児童が「ワッショイ！ワッショイ！」と囃はやしたてました。

林崎地区から参加した方は「どこのお祭りも子どもの参加が少なくなってきたと聞く。こうしてみるとやっぱり子どもはお祭りが好きだね！」と子どもたちの様子に目を細めていました。「おざしき」代表のどうぜんせつこ堂前節子さんは「子どもたちで計画実行してとても良い。人に喜んでもらいながら達成感を感じて欲しい。子どもたちや地域の人の顔が見れて、お互いを知る機会になるのがいい」と話しました。



イラスト工作クラブ おみくじ



科学クラブ 空気砲



ゲームクラブのオセロ



なつめ茶ブース



学校田で採れたもち米のきなこ餅や焼きりんご、さつまいもを試食する児童たち



二年生による御神輿

ワッショイ！

六名の「おざしき」スタッフに見守られ、縁日を楽しむ児童たち

# 雫石あねっこ PR 動画 & ポスター 完成披露

御明神小学校 6年生 11人は、御明神地区を元気にすることを目指し、地域の拠点となる「道の駅雫石あねっこ」(以下雫石あねっこ)を応援しようと取り組んできました。

11月29日(金)、道の駅関係者を学校に招き、「雫石あねっこ」をPRする動画とポスターの完成を披露しました。地元の方々でも知らない裏スポットに着目し、児童が体験したこと、味わった商品を生どもの目線でPRしています。この動画や、ポスターをどのように活用していくか意見を出し合い、「雫石あねっこ」物販事業部小笠原次長の「道の駅で動画もポスターも活用したい」という提案で、12月下旬から施設内で公開されることになりました。「雫石あねっこ」大橋社長は「これからも子どもの視点でのアイデアが欲しい」と児童に呼びかけました。

この様子は同日のIBC 岩手放送「ニュースエコー」でも紹介されました。



PR動画とポスターを関係者に披露



## 七ツ森小学校

## 2024 七ツ森ワークショップ開催

# 七ツ森をツツジの花が咲き誇る、自慢のふるさとにしたい

11月9日(土)、七ツ森小学校入り口の東屋付近の町有林でツツジの苗木を植栽する「七ツ森ワークショップ 2024」が行われました。この活動は、雫石の豊かな森林資源をまもり、育てる意識を醸成することを目的として町と(公社)岩手県緑化推進委員会雫石支部が主催し、植栽活動を通じて、児童の故郷への誇りと愛着を育み、自己肯定感を高めていきたいという学校運営協議会の目的が合致し、諸関係機関との共催で行われています。

児童16名を含む総勢46名が、小岩井農牧(株)猪内さんより植栽のポイントを教えていただき一斉に作業を開始。苗木に土をかけ、根と土が密着するようにかっぱい足で踏み、乾燥や寒さから苗木を守るように、落ち葉をかけました。



去年は100本、今年は200本のヤマツツジの苗木を植えました



### 七ツ森ワークショップ参加者

小岩井農牧(株)山林部、国有林材生産協同組合、盛岡広域森林組合、(株)ウツティかわい、地域のみなさん、七ツ森小児童有志、児童保護者



林業は目立たないけれど必要な仕事で、子どもたちが緑に触れる今日の体験が、将来の林業の活性化に繋がることを願っています

盛岡広域森林組合 参事 山下 和夫さん